

進路通信



思い定めた目標から目をそらさずにいる人は、それがどんなに遅々たる歩みであろうと、あてどなく踏み迷っている人より、なおつねに速い足取りで歩いているのである。
ゴットホルト・エフライム・レッシング（ドイツ・詩人）

2023 .6.5

第1号

この進路だよりは、東三国中の3年生の生徒のみなさんと保護者の方々に向けて発行します。将来に向けて、どのような進路を選んでいくのか参考にしてもらうための一助になるよう不定期に発行しています。

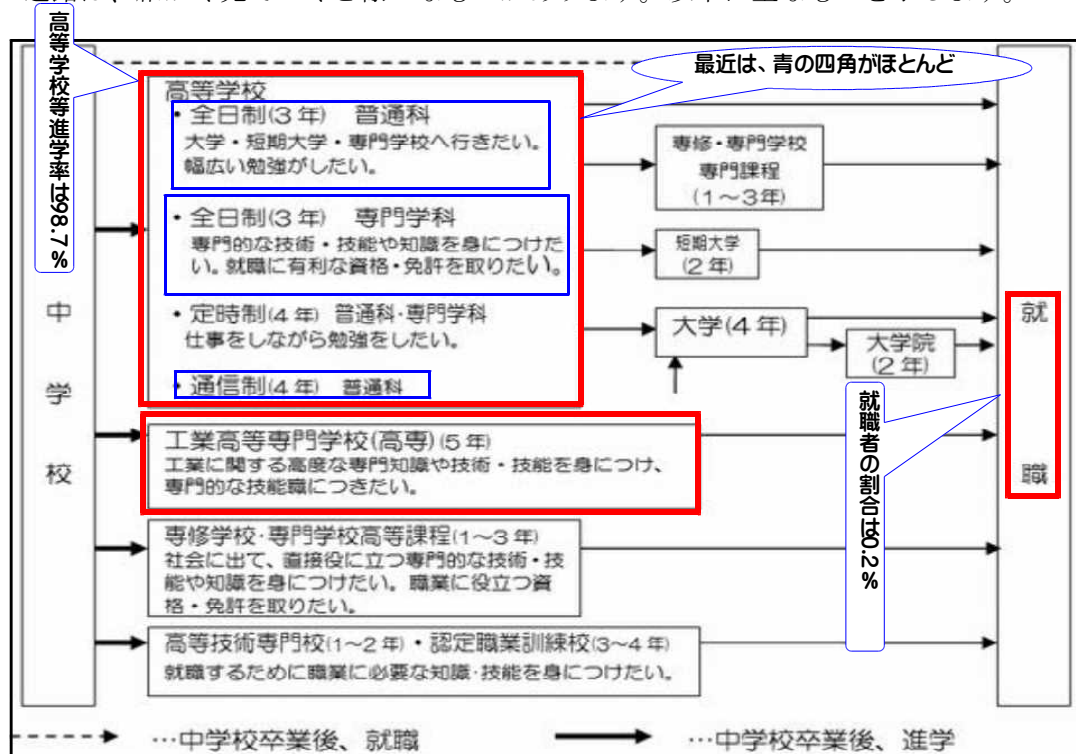
卒業後の進路選択について

3年生としての生活が始まり、中間テスト、修学旅行の取り組み、修学旅行が終わりました。気持ちをしっかりと切り替えて計画的に物事を進めていきましょう。

さて、今年は中学校生活最後の年です。誰もが自分の将来について考えていく必要があります。自分の進路を自分で決定していかなければいけません。また、進路先も進学する人や就職する人など…さまざまです。これによかったという進路選択は、実は一人ではできません。クラスや学年みんなで学習できる環境をつくっていくこと、人と人とのつながりを大切にする、誰かに支えられていることを意識すること、そんなことも含めてみんな進路（人生）を切り拓いていきます。それぞれが卒業後の進路をしっかり選べるように、卒業までの1年間、頑張りましょう！

中学校卒業後の進路

近年は中学生のほとんどが、中学卒業後の進路は上級学校への進学を希望しています。しかし、中学校卒業後の進路は、細かく見ていくと様々なものがあります。以下に主なものを示します。



ほとんどの人が高等学校に進みますが、入試が難しいから勉強するんじゃなくて、やりたいことや夢のために自ら学んでほしいと思います。この際ですから勉強を楽しんでほしいと思います。

「〇〇高校に行く」ということも重要ですが、自分は何をしたいか、そのためには何をすべきか、それを考えて続けて進み続けることが大事だと思っています。

受験生の1年

入試までの時間はみな同じです。この1年をどう過ごすかによって来年の結果は大きく違ってきます。まずは、この1年間の見通しを立てましょう。やるべきことは何か、いつまでにやるべきかをしっかり把握して、計画的な1年にすることが大切です。

4月

3年生になると、クラスメイトの授業態度もがらっと変わり、進路指導の時間も増えます。この時期までに、**毎日勉強する習慣を確立しておきましょう**。また、高校入試システムや高校に関する情報収集を始めます。

5月～夏休み前

これも、今、やつく方が良い。でも、よう考えたら当たり前のこと。

進路や志望校について考えます。「何のために進学したいのか」「何が得意か」「将来どんな職業につきたいのか」「自分にとってよい高校とはどんな学校か」など、これまでを振り返りながら考えてみましょう。

また、できるだけ内申点（5段階評価）を上げておくよう努めましょう。公立入試や私立入試の可否は、内申点に左右されます。最後の試合や大会の前で部活の練習も大変な時期となりますが、**しっかり中間テスト・期末テスト対策を立て、日ごろの授業にも真剣に取り組んで、内申点（評定）アップをめざしましょう。**

夏休み

夏を制する者が受験を制す、といわれる大切な時期。まとまった時間を取ることができる夏休みは**苦手克服のチャンスです**。課題をリストアップし、苦手の克服、また、基礎学力の底上げに計画的に取り組めます。

また、この時期、**多くの学校でオープンスクールや学校見学会が実施されます**。少しでも気になる学校のイベントには積極的に参加しておきましょう。

9月・10月

夏が終わり、部活も引退し、教室内は受験モードに。実力テストや模試を受ける機会が多くなります。**これまでの頑張りが点数となって現れる時期です**。テストの機会を生かし、得点力のアップをめざしましょう。

11月・12月

いよいよ**志望校を絞り込み**、受験プラン（志望校と併願校の組み合わせ）を立てます。学校説明会や個別相談会にも参加しておきましょう。また、中学校で三者面談が行われ、**受験校を最終決定します**。

冬休み～1月

あと、6ヶ月。あと6ヶ月しか、6・・・

追い込みと受験勉強の総仕上げの時期です。問題演習に取り組んで実戦力を高めましょう。本番どおりに時間を測って過去問を解きます。また、風邪のはやる時期でもあるため、体調管理には万全の注意を払いましょう。入試に合わせて朝型の生活リズムを整えておきます。

あと、8ヶ月

私立入試・・・2月10日より

公立 特別選抜2月20日21日 一般選抜3月11日

あと、9ヶ月

ここで質問。知っておかないといけない「受験用語」。このことばの意味わかりますか？

専願と併願

この意味わからん人は、懇談でちんぷんかんぷんになる。

答 ほとんどの高校で、**専願か併願**かを明らかにして出願することが求められます。

専願とは、合格すれば必ず入学することを約束して受験することです。**この約束は破れません。**

併願とは、合格となっても、公立高校の結果を待ってから入学するか否かを申し出る受験の仕方です。

ほとんどの場合、専願の受験生は併願より合格ラインを下げて判定する措置が取られます。この高校を第1志望とする受験生が、公立高校などの次の志望とする受験生よりも優遇して判定されます。

どんなに遅くとも私立入試の出願までには、私立専願にするのか、公立をめざして私立は併願にするのか、どちらなのかを決めておかななくてはなりません。

また、たいていの場合、専願と併願では同じ高校の同じコースでも難易度が異なります。従って、**専願なのか併願なのかによって、選ぶ受験校が変わってくる**ことになります。